

多治見の昔話 ~ 土岐川北編 ~

多治見には、たくさんの昔話や言い伝えが残っています。それぞれのお話には、土地独自の色あいや人々の生活の様子、日々の願いがこめられています。今回は土岐川の北側、豊岡、小名田・高田、池田、小泉、姫の各地域に伝わる昔話を紹介します。

「たぬきとろくじい」

大針のいたずらタヌキがろくじいをあの手この手でからかうお話
明治22年(1890)に北小木・大針・大藪・下切・今・谷迫間の6か村が合併し「姫治村」となった

秋の夜長、むかしの風景を思い浮かべながら「たじみの昔話」を読んでみませんか。
図書館本館3階にて貸出をしています。



『たじみの昔話』
書誌番号：160801825
請求記号：093.88/タジ/タ
「たじみの地域資料」コーナー
「093.8 多治見の風景」

「ばあさのモチナ」

池田真徳稲荷神社のキツネにモチナを盗られたおばあさんが、餅と油揚げをお供えしたところ、畑が豊作になったというお話
稲荷神社の初午祭は大層にぎわっていたという

「首切り地蔵」

腕自慢の侍にものけと間違われ切りつけられたお参りの女性の身代わりとなり、首を切り落とされたお地蔵様のお話
「首切り地蔵」は今も普賢寺に残る

「金のトリ」

虎溪山のふもとに金の鶏像が埋められているという伝説
全国に分布する「金鶏伝説」が基になっていると思われ「金鶏踊り」のモチーフにも使われる

「金蔵さんの握り飯」

「金蔵さん」というおじいさんに握り飯をわけてもらった狼が、嵐からおじいさんを助ける話
高田の旧字名にある「金蔵平」はこの人の名からつけられた

郷土のことについて調べるなら 郷土資料室へ

地元に関する資料や市民の皆様から寄せられた文書や記録などを整理し保管しています。保管資料は利用者の方の調べ学習・研究などにもご利用頂けます。
地域の歴史に関するご相談は、郷土資料室までお問合せ下さい。
市民の皆様からの郷土資料のご寄贈や情報の提供も募集しております。

多治見市図書館郷土資料室

【場所】 多治見市豊岡町1-55 ヤマカまなびパーク4階 JR多治見駅より徒歩5分

【電話】 0572-23-3783

【開室時間】火～土曜日 10時～17時(日・月・祝日・年末年始は休室) ※図書館とは開室日・時間が異なりますのでご注意ください